

---

## 14<水球陣>七帝戦第3戦

H26.8.23 対名古屋大学 @京都大学プール

東大 1 1 1 4 4 計11

名大 2 1 2 2 5 計12

得点者：浪間(2)、池亀(2)、梶原(2)、石田(2)、山田(3)

七帝戦一日目の第三試合、対名古屋大学。すでに二試合を消化しており疲労もたまりつつある。決して良いコンディションとは言えないが、七帝戦の王座奪還に向けてここで負けるわけにはいかない。

### 第1ピリオド

試合開始直後、東大は梶原が5m付近からミドルシュートを決め先制する。しかし、その後のカウンターや退水のチャンスを逃すと、パスミスからのカウンターとゴール前でのパワープレーによって連続で失点する。その後東大は浪間を中心に攻めるも得点できず、1-2でこのピリオドを終える

### 第2ピリオド

ピリオド開始直後、名古屋大学が先制する。その後は両チーム無得点の時間が続く。なんとか得点がほしい東大は、残り1分に山田が5mシュートを決め1点差で前半を折り返す。

### 第3ピリオド

このピリオドも先制したのは名古屋大学。10m付近からロングシュートを決められる。一方東大は梶原の回し込みによって生まれたチャンスを山田が決め、再び一点差に。一気に追いつきたい東大だが、ゴール前でのチェックの甘さから失点。その後も流れをつかみきれずに二点差のまま最終ピリオドへ。

### 第4ピリオド

勝つために得点するしかない東大は、退水のチャンスを池亀と浪間が立て続けに決め同点

とする。一度は勝ち越されるも、石田が二本ミドルシュートを決めて再びリードを奪う。そのまま逃げ切りたい東大だったが残り 10 秒で決められ同点に。勝負はペナルティーシュート合戦へともつれ込んだ。

## PS 合戦

東大は浪間、梶原、山田、池亀、桐生と、キーパー疋田の 5 人でペナルティーシュート合戦に臨む。両チームの選手が確実に決めていく中、疋田が相手チームの 5 人目のシュートを止める。しかし、東大の 5 人目の桐生が止められサドンデス方式へ。ここで東大は浪間のシュートが止められ惜しくも敗れるという結果となった。

終始リードを許し、相手のテンポに合わせた試合運びとなった。その流れを最後まで打開できなかったことが敗因として挙げられだろう。王座奪還を狙うチームにとって、痛い敗戦となった。監督を務めてくださった三宅さん、応援してくださった林さん、阿内さん、飯塚さん、堀江さん、有吉さん、ありがとうございました。

(文責 山田直人)

---